



リウマチニュース



H30年冬号

放射線検査について



こんにちは。今回はレントゲンのお話です。



レントゲンとは？

“ドイツ人の博士の名前”です。今から100年以上前に、人体を透り抜ける目に見えない光を発見し、“X線”と名付けた人です。通常レントゲンと言われているものは、正しくは“X線写真撮影”というもので当院ではその中の単純X線撮影が行われています。

単純X線撮影とは？

関節や骨を形態的に捉え、評価できます。検査部位は頸椎・肩・肘・手・膝・腰椎・股関節・足関節・足指などほとんどの関節や骨のほか胸部について撮影を行います。医師の指示により撮影する関節や骨の数が多い場合は、お一人の撮影に30分以上かかることも多くあります。



定期的に胸部の単純X線撮影をするのはどうして？

関節リウマチは、関節以外にも様々な臓器に影響が出る全身疾患です。特に肺病変は、しばしば関節リウマチに伴なって起こります。最初は軽い咳だけが主な症状ですが、感染を合併すると痰を伴ったり、進行すると動悸や息切れをきたりようになります。また副作用による薬剤性の間質性肺炎が存在すると、リウマチの薬剤治療が非常に困難な状況に陥ってしまう場合もあります。こうした理由から、関節リウマチの患者さんは定期的に胸部を撮影することがあります。



骨密度検査とは？

当院ではX線を使って測定します。結果は数値で表され、健常者の平均的なデータとも比較し、骨粗鬆症の診断や経過観察に用いられます。リウマチによって骨密度が低下する原因の一つは、関節の炎症部位における骨破壊です。その変化を把握するために定期的に検査を行います。また関節の痛みや動きの制限により骨密度が低下すること、ステロイド薬の使用による骨粗鬆症の進行の状況を把握するためにも検査を行います。

当院では腰椎と大腿骨を使って測定しています。ただし、股関節を手術されている方は大腿骨での測定ができない場合もあります。



なお、検査の目的等については担当医にお問い合わせください

放射線科

秋が深まりインフルエンザが流行する季節です。

インフルエンザどう備える？

流行期は11月～2月頃です。

予防

- 流行前にワクチン接種
- 手洗い・アルコール消毒
- 栄養と睡眠

かかったときの注意点

- 咳が出る時はマスク
- 1時間に1回程度、部屋を換気

